

# 第13回臨時大会、圧倒的に勝ち取る！



87. 12. 24  
No. 2727

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

ストライキ体制を堅持し、強制出向、  
配転攻撃粉碎、原職奪還、運転保安確立、  
「三八三・三ダイ改」阻止を闘いぬこう

十二月十九日開催された第十三回臨時大会は師走にもかかわらず、代議員・傍聴者多数が教育会館をうずめた。議長団に渡辺（館山）、鈴木（銚子）両氏を選出し、終始活発な雰囲気が進められた。参加者は、激しかった八七年を闘いきってきた確信のうえにたつて真剣な質疑を経て、当面の組織・財政・運動方針を決定した。特に、当局との激しい攻防を闘い続けている木更津支部の仲間からの報告と決意には、全参加者が共鳴し、共に連帯して闘っていくことが確認された。又、動労水戸の仲間が駆けつけ熱い連帯を表明し、八八年を動労総連合の大飛躍の年として闘うことを誓い合った。全支部・全組合員は臨大決意をわがものとして受けとめ、八八年の反撃体制をがっちり築くため頑張ろう。

## 情勢を見据えよう！

波乱万丈の時代を迎えている中で、闘い、生きつづけ勝利するためにも最も大切で、肝心なことは、われわれを取りまく情勢を恐れず見据え、敵の攻撃にうちかつ階級的団結を固めることである点が強調された。

（情勢の四つの特徴）

- ① 世界最大の赤字国に転落したアメリカの歴史的没落を軸に帝国主義の破局的危機は深まり戦争の危機が深化している。
- ② こうした中で日本帝国主義は、一切の矛盾と犠牲を労働者・人民に押しつけ、闘いを圧殺し、生きる権利さえ奪おうとする攻撃を強めている。
- ③ この攻撃に対し、野党、既成勢力は総屈服状況にあり、動労革マルにあっては「日の丸労働運動」を叫ぶまでに腐りはてている。だがこうした否定的現状を突破しようとする新しい力・運動も三里塚・沖縄・国鉄をはじめ広範に形成されてきているのも事実である。

闘う新たな全国潮流形成を求める声は確実に広がっているということである。

④ 今日この攻撃の本質は、敵に余裕のないこと、危機が深まっていることによるものであり、極めて脆弱であることを見据え、労働運動の原則に立つて闘うなら必ずや道は開けることに確信を持つことである。

## 年末年始、三つの実践課題・獲得目標！

- ① 原職奪還、労働条件改善の闘い
- ② 強制出向、配転攻撃粉碎
- ③ 運転保安確立

われわれは、決意も新たに解雇者・清算事業団・強制配転の仲間の原地・原職奪還を決意する。そして、職場から排除された仲間の怒りや闘いと結合し劣悪化された労働条件改善の闘い、安全作業・運転保安確立の闘いを、組織を強める方向で全力をつくしていくことこそ急務の課題である。

## 八八年の五つの基本課題

- 第一に、全組織をあげて不当解雇・清算事業団強制配属撤回、強制配転粉碎、原職奪還の闘いに決起する。
- 勝利のために被解雇者を先頭に事業部運動、財政基盤の確立路線をさらに強力におしすすめる。
- 第二に、全支部ストライキ体制を堅持し、「いすみ鉄道」出向問題を中心に強制出向阻止、強権的労務支配粉碎、権利奪還をより強化する。
- 第三に、JR当局の目にあまる運転保安無視を許さず新たな決意で反合・運転保安闘争に立ちあがる「六三・三ダイ改」合理化阻止の体制をつくりあげる。
- 第四に、危機にたつ革マル・鉄道労連解体闘争をより強化し、労働戦線の右翼「統一」に反対し闘う労働運動の旗を守りぬく。
- 第五に、二期工事の暴力的強行攻撃と対決する反対同盟農民との労農連帯を強化し、安保強化Ⅱ軍大化阻止の大きなうねりを創り出すために闘おう。

以上の五つの課題が満場一致決定された。八七年を突きぬけ偉大な前進を切りひらいてきた全教訓をうち固め、八八年の勝利をめざして七五〇名組合員と家族は、一致団結したたかいぬこう。動労総連合の一大飛躍のため共に奮闘しよう。